

『完全になりなさい』 コリント人への手紙第二13章11～13節 2016.9.18(聖日礼拝説教より)

『終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい。…』Ⅱコリント 13:11

◆パウロはコリント教会の罪を徹底的に指摘し、戒め、悔改めを迫るが、手紙の最後にあたり、最大の願いを告げる『喜びなさい！完全なものになりなさい！(11節)』。①私たちに与えられる救いの中心は『喜び』。喜びは神からの贈物と言う人がある。何があっても、いつまでも消えない喜びは私たちには作れない。ビタミンやアミノ酸が体内で作れないように人生を支える喜びは神からいただくもの！『主を喜ぶことはあなたがたの力です(ネヘミヤ 8:10)！』人生のあらゆる試練にも吹き消されない喜びを、あなたは神からいただきたらどうか？

◆ジョニー・エルクソンさんは刈刈だったけど 17 才の事故で四肢麻痺となり神に訴え苦しむ！友人から「いつも喜び…すべてを感謝せよ！(Ⅰテサロニケ 5:16,18)」と聖書の言葉を語られた時、失った多くのものではなく、残されたものを数え感謝し始めた時、心に喜びが湧きあがってきたという。「私はたくさん涙を流したが、神からいただいた永遠の喜びは何にも勝る！」と。60 歳となり癌を患い、更なる苦しみを背負うも、こう語る『私は、毎朝気付きます。「神様、私にはもう生きる力はない。万策は尽き果てました。四肢麻痺障害者としてのさらなる一日は、もう私には無理！しかし、強めて下さるあなたに助けられ、私は何でも成し遂げることが出来る。だから今日一日のために、あなたの笑みを下さい。あなたが今すぐ必要です！」これは私の喜びと満足への秘訣です。するとあの方は答える「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」と』。渴いて求める者には、どんな試練をも乗り越えさせる喜びの力が与えられる！

②救いの中心は第二に「完全にされる(カタルティゾー-)」こと。これは完全無欠な人間になることでなく、「修復されて元通りになる」の意。私たちの人生の様々な問題の原因の全ては、創り主なる神から離れ、本当の自分の姿が失われたことにある。神との関係が壊れ、その恵みを受けても駄々漏れ状態。自分でも気づいている罪を、今すぐ悔改め、心の汚れを捨てて聖められ、神に創られた元々のあなたの姿が回復された時、『完全にされた』と言える！神は全ての人に、優しさや思いやり、赦しや平和、敵すら愛し祈り合う心を与えておられる。壊れた機械はメーカーへ。壊れた魂は創り主へ！ひと言で人は慰められ、笑顔ひとつで心とみ、素直に心から謝ればすぐに和解できる。

★今週、あなたの心に、家庭にイエス様を迎え入れ、元々素晴らしいあなた自身を回復していただき、何者にも奪われない喜びで、魂も生活も満たしていただこう！